

静岡県漁業協同組合連合会

1032 静岡市追手町 9-18

15.2.28 ☎ 054-254-6011

編集・発行 = 指導部漁政課

1. 下田市須崎爪木崎に貨物船座礁 またしても油流出

去る2月17日深夜、神奈川県横須賀港で土砂1,500トン積み、愛知県常滑市沖の中部国際空港の建設現場に向かう途中の土砂運搬船・興洋丸(499トン)が、下田市爪木崎沖で岩場に乗り上げる事故が発生しました。事故原因は、当直の乗組員が自動操舵で航行中居眠りをし乗り上げたものでした。座礁した直後は、船体に浸水し傾いていたものの安定した状態で燃料油の流出はありませんでしたが、その後、天候が変わり風と波により船体に亀裂が入り本船に搭載されていたA重油、B重油(約35kl)が漏れ出しました。

このため、オイルフェンス、吸着マットなどによる防除作業を行おうとしましたが、現場が岩場で海象条件が悪いため手がつけられない状況となっており、油汚染の拡大が心配されるようです。

また、座礁現場は磯根漁業の漁場であるため、興洋丸の積荷土砂1,500トンがこの漁場に流出し覆うことになった場合には、さらに漁業被害が広がることが予想され心配されています。現在、下田海上保安部、下田市、下田市漁協、南伊豆町漁協がその対策を検討しています。

2. 県漁協青壮年部連合会研修会及び平成15年度第42回通常総会を開催

県漁協青壮年部連合会(鈴木八十志会長)では、去る2月21日伊豆長岡町において県下の漁協青壮年部員60名が参加し研修会及び通常総会を開催しました。

研修会では、特に伊豆地域で共通の問題になっている漁業とレジャーとの調和に着目し、「海洋性レジャーと漁業について」と題したテーマで漁村振興コンサルタントの田中克哲氏が講演を行い、全国各地における取り組みについて事例紹介しました。

特に、大阪府田尻漁協のマリーナ事業としてヨット、モーターボート、水上オートバイの保管事業、釣堀の運営、海鮮バーベキューセンターを整備した事業例のほか、千葉県鋸南町漁協直営の地場産品を利用した新鮮な海鮮料理店(ばんや)の食堂運営など成功例を材料に、全国の海洋レジャーと漁業との関連について分析しながら説明がありました。

その後、総会を挟んで各支部における活動報告及び意見交換が行われ、停滞傾向にある青壮年部活動を活性化するための試みとして、各浜での身近な問題に取り組む部会の創設について執行部より説明がなされ、各漁協青壮年部に持ち帰り理解を求め開催して行くことになりました。

また、講演終了後、通常総会が開催され鈴木会長の挨拶のあと、来賓として本会原会長、県信漁連佐藤会長よりそれぞれ挨拶があり、その後、議長に南伊豆町漁協青壮年部の平山

敏郎氏が選出され議事を進行し、議案は全て原案どおり承認され終了しました。

3. 水産政策審議会委員を一般募集

水産庁では、国民の声を水産政策に反映させるため、初の試みとして水産政策審議会委員を広く一般から募集しています。水産政策審議会は、水産基本法に基づき、基本計画の策定、水産白書作成などの重要事項を審議するため設置された農林水産大臣の諮問機関です。委員の任期は2年で、委員には手当と旅費が支給されます。募集資格は次のとおりとなっています。

(応募資格)： 水産問題に関心のある方 年5回程度の平日開催の会議に確実に出席できる方 今年7月7日現在で満20歳以上70歳未満の方 日本国籍を有する方 のいずれにも該当する方。ただし、国の行政機関職員・出身者、地方公共団体・議会代表者は不可。「応募人員」：4名以内 「応募方法」：次のテーマから1つ選択し意見、提言を1,200字以内に取りまとめ住所、氏名、生年月日、性別、職業、電話番号を記入の上履歴書(写真添付)を添えて提出する。応募期間：2月17日～4月11日 (提出・問合せ先)：水産庁漁政課委員募集担当 電話03-3591-6581 「テーマ」： 水産物の安全・安心の確保 水産業の構造改革 都市と漁村の共生・対流の促進や漁村の活性化 水産資源の持続的利用に向けて水産庁がなすべきこと

4. 静岡県平成15年度水産予算案決まる

県は、このほど平成15年度当初予算案を発表しました。

このうち水産関係予算案(水産総室)は、一般会計が78億6,073万円(14年度当初比7.4%減)、特別会計(沿岸漁業改善資金)1億7,900万円(32.6%増)の総額80億3,973万円(6.9%減)となっており、県議会2月定例会に上程されることになっています。

15年度水産関係当初予算案の主な事業、事業費は次のとおりです。 下田市漁協が事業主体となり行う水産物産地流通加工施設高度化対策事業(製氷、貯氷施設)に1億286万円 焼津港の日本一の冷凍カツオについて、漁場、漁法、温度管理や衛生管理などの漁獲流通履歴を消費者に伝達する仕組みを構築するための水産物漁獲流通情報開示促進事業費250万円(新規) 駿河湾深層水利活用を推進するため深層水利用研究を行う利用施設整備費として7億円 などが盛り込まれています。

5. 諸会議・日程(3月4日(火)～3月17日(月))

- 既報分省略 -

3月11日(火) 県漁連 = 県温水利用研究センター運営協議会 (浜岡町・温水センター)

3月13日(木) 県漁連 = 農林年金連絡協議会役員会 (県水産会館)

〃 県漁連 = 指導対策委員会幹事会 (〃)

3月13日(木)～14日(金) 県しらす船曳網漁業組合 = しらす漁海況予察研修会

(13日：福田町、浜名漁協 14日：吉田町、静岡漁協)

3月14日(金) 県漁婦連 = 第46回県漁協婦人部大会 (静岡市・あざれあ)